

農繁期 レポート 令和3年 9月号

バードライフファーム

オーナー	(一般)バードライフ・インターナショナル東京
水田面積	25.0アール
保証量	玄米1125kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



生産者 米風土鳥取の皆さん

お盆からの長雨は予定外で農家には厳しいものになりました。長雨はイネが病気になりやすくなりますが化学肥料を使わない私たちのイネは無事です。天候不順だったため、やや全体の収量が下がりましたがそれでも安定してお米はできました。収穫後に乾燥、粃摺り、検査など出荷までに行程はいくつかありますので、もうしばらくお待ちいただき、新米をご堪能ください。

9月の作業内容

1. 稲刈り

稲刈りはコンバインで刈取から脱穀迄行います。適期はあり、過ぎてしまうと品質は落ちる一方です。また稲刈り時期に気温が高い好天ばかり続くと、今度はもっと遅くに刈る予定だった稲まで一気に生長してしまい、適期を逃す事にもなります。

2. 乾燥

収穫直後のお米は水分量が20%前後と多く15-16%に落とすため、稲刈り後すぐに乾燥機へ入れ調整します。乾燥も強い力で一気に行うとお米に負荷がかかり、胴割れを起こす原因となるため、時間を掛けてゆっくりと落としていきます。

3. 粃摺り機

乾燥が終わった直後は粃が熱を持った状態の為、そのまま粃摺り機に入ると「肌ずれ＝玄米表面が傷つく」という品質劣化を招きます。粃が冷めるのを待ってから粃摺り機へ投入し、殻を取り除くことで「玄米」に仕上がります、袋詰めして保管します。

4. 製品に仕上がるまで

まず「等級検査」を受けます。形や色が整った米粒の割合によって判別され、弊社は1等米のみ扱います。出荷までは保冷庫で保管し、出荷直前に【色彩選別機⇒石抜機⇒精米機⇒小米取り機⇒再度色彩選別機】にを通し、製品になります。

